

図書館機能を有した生涯学習施設整備事業

—No.40 白岡市—

【事業の内容】

図書館、資料館、生涯学習の機能を併せ持った、市民の芸術・文化・生涯学習活動の拠点となる新生涯学習施設の建設事業を、平成30年度の開館を目標に進めるものです。

【事業年度】

平成27年度～平成30年度

【予算額(千円)】

549,329千円(平成28年度)

【財源】

一般単独事業債、一般財源(市)

【事業実施に至った背景・経緯】

当市においては、図書館、中央公民館、勤労・青少年ホーム、大山民俗資料館といった社会教育施設を設置しています。これらの施設は、市内における情報収集、生涯学習活動の場の提供、文化財の常設展示といった機能を果たしており、広く市民に活用されています。しかし、各施設の規模や老朽化などの理由により、既存の施設では市民のニーズに対応することが困難な状況であり、新たな施設を望む声が多く寄せられていました。

そのため、市では、図書館、資料館、生涯学習施設の機能を併せ持った新生涯学習施設を市役所の近隣に建設し、更なる市民の利便性の向上を図るものです。

【事業のPRポイント】

新生涯学習施設には、以下のような役割が期待されています。

(1) 情報収集の拠点（図書館機能）

豊富な資料と情報を提供する地域の情報拠点として、資料の収集・整理・提供・保存を行うとともに、子どもからお年寄りまでの様々な年代に応じたサービスを提供し、地域に根差した情報収集の拠点としての機能を有します。

(2) 歴史・伝統文化継承の拠点（資料館機能）

文化財の収集・保存・管理・展示を行い、市内外に対して白岡市の歴史・伝統文化を発信する拠点とするとともに、文化遺産を調査・研究し、次代へ継承する機能を有します。

(3) 生涯学習・地域コミュニティの拠点（生涯学習機能）

多目的使用が可能な部屋を備え、市民の文化・芸術・生涯学習活動などの多彩な楽しみ方を広げることができます。また、暮らしに役立つ情報を提供できる環境を整えることにより、「情報と人」、「人と人」の交流ができる場所と時間を提供する機能を有します。

【今後の展開】

前年度に引き続き実施設計を行った上で、建設工事に着手する予定です。

平成 30 年度の工事完了と開館に向けて、事業を進めていく予定です。

【参考資料】

白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画（概要版）

〔 連絡先 〕

白岡市役所 0480（92）1111
企画政策課政策調整担当 （内線346）
生涯学習課生涯学習施設準備室 （内線275）

基本コンセプト

すべての人たちが生涯を通じて楽しく学び、憩い、交流することができる、生涯学習・地域コミュニティ・文化創造の拠点

歴史・伝統文化継承の拠点 (資料館機能)

- 文化財の収集・保存・管理・展示を行い、市内外に白岡市の歴史・伝統文化を発信する拠点としての機能を備えます。
- 白岡市にゆかりのある文化遺産を調査・研究し、次代へ継承する機能を備えます。

- ・常設展示スペース
- ・映像資料閲覧スペース
- ・文化財管理

情報収集の拠点 (図書館機能)

- 豊富な資料と情報を提供する地域の情報拠点として、資料の収集・整理・提供・保存の機能を備えます。
- さまざまな年代に応じたサービスを提供し、地域に根ざした、白岡らしい情報収集の拠点としての機能を備えます。

- 〈蔵書冊数22万冊以上・開架冊数15万冊以上〉
- ・一般開架スペース
- ・児童・青少年資料コーナー
- ・対面朗読室
- ・視聴覚・ITコーナー
- ・地域・行政資料コーナー
- ・学習室

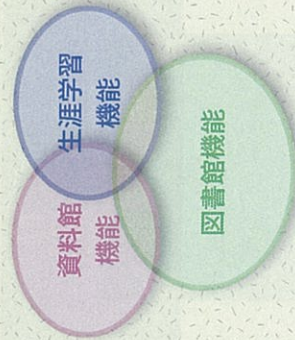
生涯学習・地域コミュニティの拠点 (生涯学習機能)

- 多機能を部屋を備え、文化・芸術・生涯学習などの多彩な楽しみ方が広がる機能を備えます。
- 暮らしに役立つ情報を提供できる環境を整え、「情報と人」「人と人」の交流ができる場所と時間を提供する機能を備えます。

- ・視聴覚室、音楽・軽スポーツ室（多目的ホール）
- ・音楽スタジオ
- ・創作室
- ・市民活動・交流スペース

目指すべき生涯学習施設のあり方

3つの異なる機能が融合し、一体的なサービスを提供



《従来の複合施設（機能の連携）》
同一施設として、異なる機能が連携し、サービスを提供します。



《目指すべき生涯学習施設（機能の融合）》
同一施設として、異なる機能が融合し、一体的なサービスを提供します。

生涯学習施設の整備方針

資料館機能

- ・常に新しい風や現代感覚を取り込んだ歴史展示による地域の理解を推進します。
- ・地域資料の展示観覧からはじまる地域学習の進展を図ります。
- ・〈見て・触れて・感じる〉体験学習の場を提供します。
- ・歴史文化を学習する機会の充実を図ります。
- ・白岡らしさを十分に発揮した展示とするための調査・研究活動の充実を図ります。

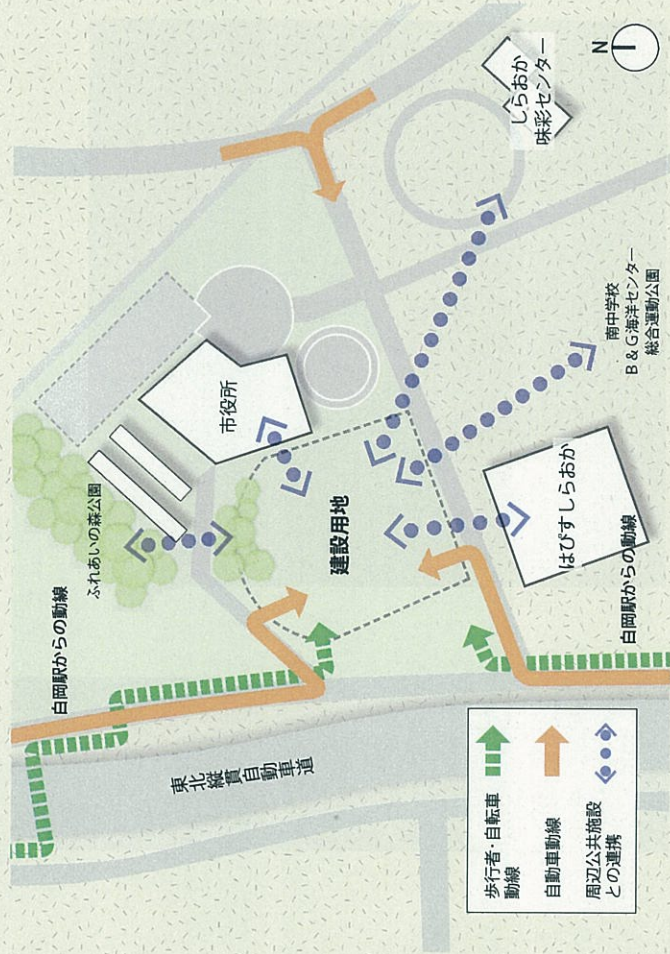
図書館機能

- ・レファレンスサービスに力を入れた課題解決型の図書館を目指します。
- ・子どもから高齢者まですべての人たちが使いやすい図書館を目指します。
- ・ゆったりと長い時間滞在できる空間や環境の整備を図ります。
- ・読書推進や学習支援活動など学校図書館と連携を図ります。
- ・諸家文書、行政文書などの継続した収集・整理・保存と研究成果の市民への還元を図ります。

生涯学習機能

- ・いつでも・どこでも、誰でも学べる生涯学習活動を支援します。
- ・文化的・芸術的学習活動を支援します。
- ・年齢層にあわせた学習の場や世代を超えた多様なきずなを作り支援します。
- ・軽スポーツやレクリエーション活動を支援します。
- ・生涯学習活動のサポートを行うボランティアの育成を図ります。

建設用地



交通手段

自動車や自転車・徒歩等のアクセス方法を考慮し、北側・南側両方から出入口を確保し、交通安全対策及び弱者対策にも十分配慮します。

周辺公共施設との相互利用

建設地は、市役所周辺の公共公益ゾーンに位置し、周辺の公共施設の相互利用や施設連携が可能となり、回遊性の高いゾーンとして期待できます。

環境等への配慮

自然エネルギーの活用

自然採光を利用した照明計画やソーラーパネルを利用した太陽光システムなど自然エネルギーの活用について検討します。

省エネルギーの推進

LED照明の導入による照明電力の抑制に配慮します。
節水型機器の導入、雨水利用などの使用水量の抑制に配慮します。

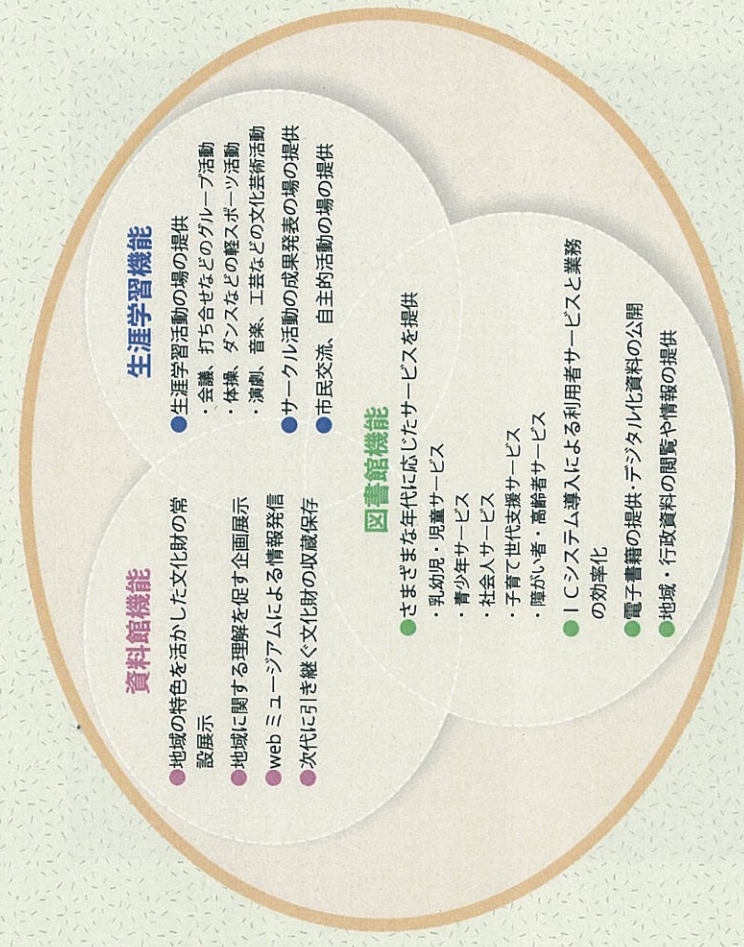
長寿命化による財政負担の低減

メンテナンスのしやすさや、将来にわたっての費用バランスを考慮した機器を選定します。
機械・システムの更新の際に柔軟に対応できるように配慮します。

ユニバーサルデザインへの配慮

高齢者・障がい者などをすべての人たちが利用する施設として、ユニバーサルデザインに配慮した人によさしい施設を目指します。

導入機能



機能の融合により、市民が、学習し、地域の歴史を学び、活動し、出会い、交流が生まれ、創造力豊かな人間形成を促し、白岡らしさの発見と新たな文化が創り出されていきます。

整備スケジュール



概算事業費・建物延床面積

概算事業費はおおむね26億円、建物延床面積は4,600㎡程度の設定とします。
※引越し費用、施設運営費（維持管理、人件費等）は含まれません。